

中日新聞有松専売店(山口所長)

「人間力UP子育て教室」で道徳観に基づいた子育て指南

名士古屋

「武士道」の教えを生かして取り組み、子どもたち

中日新聞有松専売店(山口達世所長)は23日、名古屋と、今年2月から毎月、同

屋市緑区の有松幼稚園で「人間力UP子育て教室」となる

「第一回・人間力UP子育て教室」を開いた。子育てのチビママちゃんを開

世代の読者ら11人が参加し、講師のNPO法人「武士道協会」(塩川正十郎理事(本多百代常務理事)の本多百代常務理事

兼事務局長から日本特有の道徳観に基づいた子育て術を教わった。

同日では「自店の区域を事件や事故が起きない安全で安心なエリアにすること」も中日報売店の使命(山口所長)として、地域の人

本多さんは「新聞そのものが『知的』な商品。新聞販売店は新聞を配達しているだけではなく、『知的』なものも提供している。その販売店に『知的』な人の生きる道まで広めていただけのことば鬼に金棒」と、山口所長の活動を高く評価する。

まずは親の人間力向上の大切さ強調

この日の教室は、中日新聞社に今春入社、同店で研修している吉野淳一さんが進行。開講前に吉野さんが



教室では本多さんが「親が自分以外の視点を持って子育てできれば、子どもに側隠の情が育まれる」と、親の人間力向上の大切さを話した。

子育てについて「人は認められることが最大の幸せ。子どもを認め続け、子どもの存在を感謝して『生まれてきてくれてありがとう』と両親で朝晩言っている」と指摘。

「努力しないといけない部分はその子の欠点であり、それを克服することで使命が見えてくる」「物事すべてに通じることは幸せ」と、人としての生き方を説いた。

つ。同協会の西尾晴夫理事が「互いに思いやりのある社会を築きたいと活動している。子どもたちが安心して成長できるように努めた」と話した。

す。ある版

新聞情報

THE SIMBUN JYOHO SPECIAL EDITION

5月30日(土)
2009年(平成21年)
第5070号
(第3誌郵便物認可)